

資 料



歴代教役者

(当教会勤務年月)



山本貞彰執事(司祭)
(1960.10~1964.2)



西川正文司祭
(1967.1~1970.2)



岡崎 正司祭
(1970.2~1972.4)



池原貞雄司祭
(1972.4~1984.4)



新城 喬司祭
(1984.4~2002.3)



上原榮正司祭
(2002.4~2005.3)



目崎甲式執事(司祭)
(2002.4~2007.3)



石原絹子執事(司祭)
(2007.4~2008.3)



姜 勇求司祭
(2006.4~現在)

信徒名簿

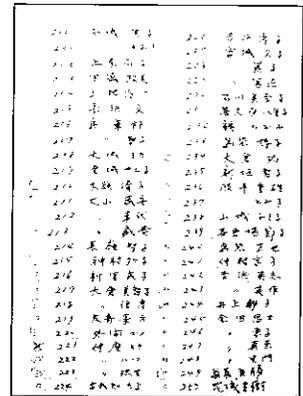
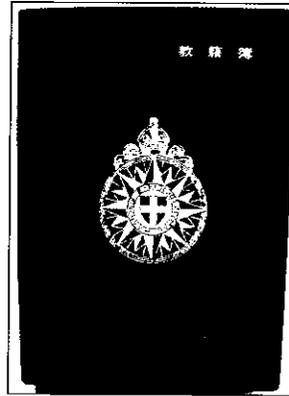
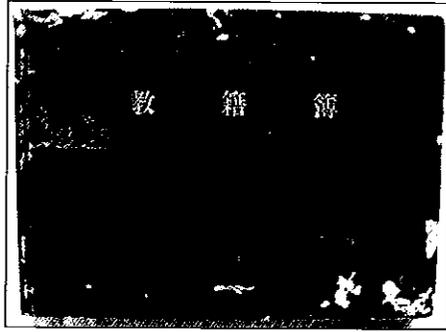
1. 在籍したことのあるすべての信徒

(網かけ：現在の出席信徒)

教籍 番号	教名・姓名	教籍 番号	教名・姓名	教籍 番号	教名・姓名
1	アグネス・佐久本敏子	2	ダビデ・宮城正幸	3	ステパノ・大山盛弘
4	ミカエル・伊敷勝次	5	セシリア・城間ヨシ子	6	マリア・太田ミエ
7	ジョイ・羽地節子	8	マーガレット・当山千穂子	9	エリザベス・山本重美
10	クララ・山本エリ	11	ダビデ・太田七郎	12	アンナ・太田睦子
13	ユリヤ・仲松幸子	14	アグネス・津嘉山光子	15	マーガレット・津嘉山昌子
16	ヨセフ・太田作好	17	グレゴリー・城間源哲	18	バルナバ・惣慶長生
19	テモテ・山城長孝	20	ヨハネ・比嘉繁元	21	デニス・羽地朝治
22	アウガスチン・当山進	23	グレゴリー・当山拓也	24	モニカ・当山道子
25	ヨハネ・小橋川松明	26	マリア・小橋川千枝子	27	マリア・石川富子
28	キプリアン・新垣良栄	29	パウロ・川平朝甫	30	セオドル・白石誠之助
31	アグネス・山本リエ	32	カタリナ・大城京子	33	カタリナ・伊敷紀美子
34	マーガレット・平識美津枝	35	マグダラのマリア・板良敷道子	36	マリア・比嘉美穂子
37	ダビデ・小橋川浩	38	アグネス・玉城重子	39	クリスチナ・川上滯子
40	テレジア・玉那覇秋子	41	ウイリアムス・小橋川学	42	モーセ・城間茂世
43	？・伊敷あゆみ	44	アンデレ・仲村栄信	45	マーガレット・大城洋子
46	エリザベツ・川平理子	47	ミリアム・宮城美津子	48	？・野村フランク
49	マリア・城間千賀	50	クリストファ・国吉長立	51	マリア・野村恭代
52	アンデレ・岡崎 守	53	セシリア・島袋末子	54	ミリアム・岡崎直子
55	シモン・岡崎 央	56	フランシス・岡崎文子	57	レオナード・仲本雄治
58	マルチン・仲本幸雄	59	スザンナ・宮里和子	60	トマス・宮里 豊
61	プリスカ・田港百合子	62	セシリア・下地若菜	63	セシリア・真喜志君江
64	リベカ・真喜志リベラ	65	グレイス・福里智子	66	マリア・池原チトミ
67	テオドル・池原秀雄	68	ヒルダ・池原美弥子	69	ヨハネ・棚原憲治
70	マーガレット・兼村洋子	71	マリア・上地恭子	72	パウロ・上地高也
73	マリア・上地和子	74	ヨハネ・上地清仁	75	エリザベス・上地友美
76A	カタリナ・上地 恵	76B	ヨハネ・真志喜 勇	77	マリア・長谷川リル
78	エリザベス・棚原ひかる	79	ルカ・棚原 洋	80	マルコ・末吉哲也
81	フランシス・末吉淳也	82	ルツ・末吉リエ子	83	ウイリアムス・上地一史

84	エリザベツ・末吉令子	85	アブラハム・末吉全章	86	カタリナ・末吉章子
87	ヨセフ・長谷川正	88	エレミヤ・下地 弘	89	エステル・下地敏子
90	フランシス・石川 敬	91	ルツ・石川 盛子	92	ヨハネ・翁長良起
93	マリア・翁長美代	94	リベカ・仲村節子	95	ヘレナ・仲村道子
96	マルコ・仲村真理	97	フランシスカ・大城奈美	98	リベカ・林 加代
99	カタリナ・喜久川園子	100	マリア・喜久川路子	101	ヤコブ・上地安利
102	パウロ・上地安貞	103	マリア・大城 勝	104	ナオミ・石川カナ
105	イサク・山川宗雄	106	ルツ・山川美津	107	マリア・具志堅美由紀
108	セシリヤ・平良尚美	109	ヤコブ・山川宗大	110	ヒルダ・福村喜美子
111	ペテロ・福村圭介	112	マリア・福村元子	113	アンデレ・福村秀樹
114	エリザベス・福村すみか	115	ハンナ・石川ヒロ子	116	パウロ・石川雅一
117	モニカ・鉢嶺園子	118	オーガスチン・石川勝巳	119	アンナ・金城米子
120	ドルカス・金城瑞子	121	マルタ・上地順子	122	ダビデ・上地 淳
123	サラ・伊礼喜久	124	マリア・城間カツ	125	ジェローム・城間盛徳
126	クララ・城間ヨシ子	127	アントニオ・伊良波朝健	128	グレイス・棚原八代子
129	マタイ・棚原 真	130	フローレンス・石川千賀子	131	ルカ・伊地弘昭
132	フローレンス・伊地さえ子	133	エリザベス・野原るみ	134	モニカ・野原ひろ子
135	マリア・石川智子	136	ジョージ・金城正康	137	セシリヤ・佐久本恭子
138	ルツ・真志喜 静	139	マリア・真志喜真利子	140	ステパノ・真志喜 浩
141	アンナ・上地芳子	142	イサク・玉城和春	143	ハンナ・金城美代
144	アンデレ・金城勝美	145	ダビデ・金城輝博	146	サラ・玉城ハル子
147	ブリジェット・国吉司囃子	148	バジル・上運天研成	149	ハンナ・上運天綾子
150	セシリヤ・上運天真差代	151	モニカ・上運天千賀子	152	フランシスコ・上運天滋
153	レオ・池原千里	154	レオノーラ・池原里紗子	155	—
156	—	157	ペテロ・上地安親	158	アンデレ・上地貴弘
159	バルトロマイ・瑞慶覧長宏	160	エリザベス・山里令子	161	ヨハネ・崎浜洋三
162	マリア・大城理恵	163	マリア・崎浜キヌ	164	アンデレ・崎浜 慶
165	アブラハム・宮里 明	166	サラ・富里英子	167	ミリアム・仲田喜世
168	マリア・仲田そのみ	169	エリザベツ・仲田ひろみ	170	ルツ・崎浜明子
171	カタリナ・崎浜可奈子	172	ペテロ・崎浜 漢	173	トマス・池原里一
174	? ・長谷川直樹	175	フランシスコ・川崎文雄	176	ルツ・新島嘉子
177	サラ・当山桂子	178	イサク・当山清之	179	ハンナ・崎浜政子
180	ヨブ・与久田幸春	181	イザヤ・久手堅憲義	182	ヨハネ・翁長良光
183	エレミヤ・名嘉 淳	184	ルツ・名嘉悦子	185	ヤコブ・仲地 実

186	ヘレナ・瑞慶覧ゆかり	187	バルナバ・国吉隆夫	188	フランシス・田港朝史
189	イサク・宮里眞輝	190	エリザベス・喜久川裕子	191	ヨハネ・池原雄二
192	テレサ・森田トミ	193	パトリシア・仲地恵子	194	マリア・湧川政子
195	モニカ・瑞慶覧ツル	196	マリア・比嘉テル	197	カタリナ・大城まき
198	マーガレット・長谷川リナ	199	—	200	ルツ・新城笑子
201	モニカ・新城かおり	202	マリア・上原百子	203	セシリヤ・田盛政美
204	パウロ・上地昌一	205	マリア・長浜文	206	ヨハネ・島卓郎
207	ヨハネ・島智子	208	アグネス・大城まき子	209	マリア・金城サエ子
210	フランセス・大嶺清子	211	ニコラス・大山盛安	212	ヘレナ・大山幸代
213	サムエル・大山盛貴	214	エリサベツ・長嶺智子	215	モニカ・神村タケ子
216	マーガレット・新里成子	217	ベダニヤのマリア・大倉美智子	218	クリストファ・大倉信彦
219	パウロ・友崎景方	220	エステル・外間マツ	221	ヒルダ・仲座キク
222	アンナ・仲座ハツ	223	アグネス・仲座弥生	224	ハンナ・古我地きよ
225	—	226	マリア・吉濱幸子	227	アグネス・宮城久子
228	クララ・宮城篤子	229	サムエル・宮城篤直	230	ベロニカ・石川美奈子
231	ルツ・普久原八重子	232	ミカル・鶴なおみ	233	アグネス・島袋博子
234	クレメント・大倉祐	235	セシリヤ・新垣智子	236	ペテロ・波平重雄
237	アンナ・波平トミ	238	ゴルゴニア・山城トミ子	239	カタリナ・喜舎場節子
240	サムエル・島袋正也	241	マリア・仲村京子	242	ヨシュア・吉濱英志
243	イサク・吉濱英作	244	マリア・井上静子	245	ヨシュア・金田昌士
246	アグネス・金田恵子	247	エステル・金田真奈	248	ガブリエル・金田史門
249	ヨハネ・翁長良勝	250	クリストファ・花城秀樹	251	マリア・羽根容子
252	パウロ・千早正光	253	ヨセフ・仲村実彦	254	レオナルド・宮城篤正
255	マリア・比嘉優里絵	256	アンナ・宮城智香	257	ヨハネ・親盛恵
258	マリア・翁長美智子	259	ルツ・翁長シゲ子	260	マリア・目崎宗世
261	マーガレット・名嘉るみ子	262	マルタ・福村あんな	263	マリア・福村まりな
264	トマス・石原博正	265	マリア・玉城オト	266	マグダラのマリア・神村由衣
267	ヒラリー・岩淵南	268A	テレサ・島袋李香	268B	マーガレット・高英珠
269	アグネス・小野和子	270	ベルナルド・岡田崇	271	テレサ・玉城哉子
272	ルカ・岡田千畝	273	アンナ・岡田千枝	274	マルタ・翁長めぐみ
275	ハンナ・翁長ゆかり	276	ヨセフ・玉城皇	277	セシリヤ・松田稲
278	テレサ・萃宮城啓子	279	ニコラス・清嶋孝一		



2. 教籍を置かないで出席する信徒・予備信徒

(五十音順)

教名・姓名	教名・姓名	教名・姓名	教名・姓名
石川大剛	石川南希	石川慧佳	石川千祐
石川真央	クララ・李苑圭	川上さおり	川上疏人
川上るり	フランシスコ・栗原真行	モーセ・呉屋昭夫	呉屋京子
下地朔太郎	下地菜心	ヘレン・鈴木裕子	瀬戸紫織
ガブリエル・立田晴記	ハンナ・立田亜由美	ヨセフ・野間一博	マリア・三浦奈津美
宮川真一	宮里文代	宮里周	宮里愛
宮里文人	宮里里歩	モニカ・屋我かおり	屋我浩大

3. 教籍を置かないで出席していた信徒・予備信徒

(五十音順)

教名・姓名	教名・姓名	教名・姓名	教名・姓名
安次嶺悦子	荒牧春	ダビデ・池内礎良	宇夫方隆士
イザヤ・金ジョンス	スザンナ・金賢眞	金主安	金主賀
ベネディクト・高英敦	マリア・黄福順	佐藤寧子	佐藤優
澤田めぐみ	セラ栄子	名嘉恒雄、ジョン	仲村亜希子
仲村桜子	福村圭太	与儀達子	与儀清春

首里聖アンデレ教会小史 (1960～1988)

「聖公会沖縄宣教小史」(新城喬編集、日本聖公会沖縄教区発行、1989年10月30日) 318～321頁から転載

聖アンデレ教会は、琉大カンタベリー・クラブのメンバーが育って誕生した教会といえる。

1958年に来島した山本伝道師は、翌年3月に執事に按手され、同じ年の9月に仲村司祭と共に、三原の副牧師となった。同じ年に琉大内にクラブ活動として、カンタベリーが誕生したのである。最初の頃は、琉大内の教室を使用して、講話、英会話、哲学、教理研究、教会音楽、手芸等の内部活動と、外部の活動として宮古南静園訪問並びに奉仕作業、島内ピクニック等、勢力的な部活動が展開された。翌年、三原出身の学生信徒を中心に1960年10月30日、三位一体後第20主日第1回の聖餐式が行われた当蔵在の大学食堂の二階で、12名の会衆によって教会設立。

その後、主日礼拝を中心に学生の活動が盛んになり、近くの一軒家を借りて、学生の奉仕により聖アンデレ学校を開校、地域の小、中学生の学習に奉仕するまでに発展した。

その時既に、教会用地として玉陵前千坪を購入し、建築許可を得て、62年2月に着工した。しかし、玉陵敷地内を利用することに反対する人たちが、「文化を守る会」を結成して、激しく抗議と妨害をしたため、コンクリート外形は出来上がっていたが工事を中止するの止むなきに至った。同年10月政府が土地を買収することで解決し、翌63年、現在地の500坪を購入した。だが、ここでも居住者の立ち退き及び所有権をめぐる難問題が持ち上がり、法廷訴訟の事態に至った。この間、教会は洋裁店二階(61年)、首里市役所あと(63年)と仮礼拝所を移転したが、20余名の若い信徒は、40名余のクラブ員と共に、礼拝、聖書研究、キャンプ、演劇、学習塾等々の活動を勢力的に展開していた。

64年始め、山本司祭の離任、その後管理司祭となったハイオー司祭の帰国と相つぎ、七月より、仮礼拝所を閉じ、聖ペテロ・聖パウロ教会に合併されることになった。

67年1月西川正文司祭が神戸教区より赴任し、4月に聖アンデレ教会牧師に就任し、アパートの一室を借りて礼拝を始め、教会の復活に努め、土地問題の解決に尽力した。69年秋、訴訟の解決を見、12月地割式が行なわれ、ここに待望の教会建築が実現したのである。

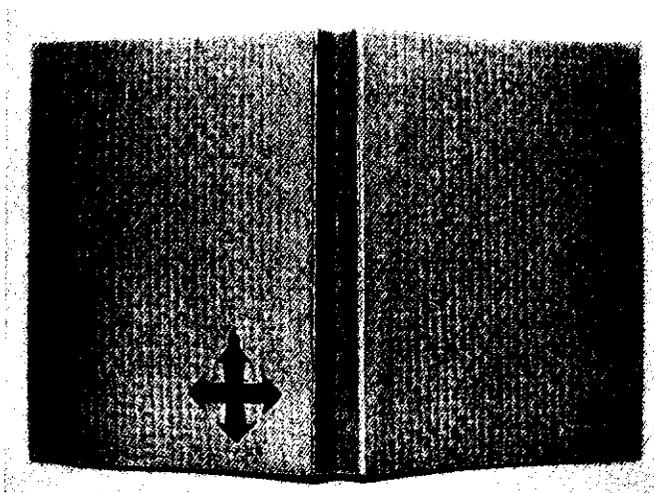
1970年2月26日西川司祭は、教会建築途中で神戸に帰られ、同年赴任した岡崎

正司祭の時、5月5日、ブラウニング主教によって聖別式が行なわれた。建物は鉄筋二階建て一階礼拝堂、二階は学生センター室及び牧師館で、創工費2万ドル。48坪であった。なお同日、岡崎司祭の牧師任命式も行なわれた。岡崎司祭は2年間教会勤務のかたわら、教務所の仕事も手伝っていたが1972年4月2日のイースター礼拝を最後に帰神。代わって4月3日に池原貞雄司祭が赴任、1984年まで勤務された。その間、教会の自給の問題等でいろいろ事業案も浮かんで消えたが、これという自給案も実現せず教区への負担金等にも苦心した。

1977年5月、老人ホーム「愛の村」が社会福祉法人「琉球キリスト教奉仕団」によって、北中城村に開設されると同時に池原司祭は休職となり、「愛の村」に専念することになったので、翌年4月、教区の人事大異動によって、新城司祭が島袋諸聖徒教会から赴任した。それと同時に教会の補修、プレハブの集会所が建てられた。また1988年2月には、敷地内に芸大、キリ短の学生のためのアンデレ寮（三階12室）が完成した。

学生センターについて

教会内に最初から設けられた学生センターは、琉球大学カンタベリークラブ員、キリスト教短大、沖縄大学、沖縄短大等に学ぶ聖公会信徒及び求道者から成り、時事問題研究、聖書研究、書道教室、指人形、演芸等の活動を行っていた。組織としては、沖縄キリスト教協議会に加盟し、琉大YMCA、カトリック研究会、キリスト教短大聖書研究会等と共に、講演会、キャンプ、セミナー、祈祷会等の活動も行なった。また他教派の教会、それぞれの学生担当牧師らによって大学宣教協議会も結成され、大学宣教にはげんだが、琉球大学の移転や、学生の関心も薄くなり、いつの間にか解消した。



年 表

年	月	日	主 な 事 項
1958	7	9	山本貞彰伝道師来島、名護勤務
1959	3	21	山本貞彰伝道師、執事接手
	9		山本貞彰執事、三原教会の副牧師就任
	9	21	カンタベリークラブを琉大内に結成
	12	5	山本貞彰、新城 喬両執事の司祭接手
	12	12	学生センター(予定地)起工式
1960	2	27	カンタベリークラブのメンバーたち南静園訪問
	10	30	第1回の聖餐式、教会設立
1961	3	21	沖縄聖公会設立10周年記念大会（於沖配ビルホール）
1962	2		聖堂建築着工
	10		県政府が建築中止となった土地を買収
1963			現在地の教会用地購入
1964	2		山本貞彰司祭離任、離島
	7		管理牧師ハイオー司祭帰国
	7		仮礼拝所閉鎖、聖ペテロ聖パウロ教会に合併
	12	18	池原貞雄、高良孝誠両伝道師の執事接手式
1965	1	15	米国聖公会沖縄伝道教区第1回教区会
1966	1	14	池原貞雄、高良孝誠両執事の司祭接手式
1967	1	3	西川正文司祭(神戸教区)赴任
	4	1	西川正文司祭、聖アンデレ教会の牧師に就任
	4		三原、小禄、島袋教会との復活日合同野外礼拝（於中城公園）
	9	18	米国聖公会沖縄伝道教区設立決議
	9	26	沖縄伝道教区初代主教にブラウニング司祭選出
1968	1	5	ブラウニング司祭の主教接手式
1969	4	6	岡崎 正司祭来沖（神戸教区より）
	7	29	国際ワーク・キャンプ、於宮古島（～8.8）
	8		青年部、八重山キャンプ
	12	21	地割式
1970	2	26	西川司祭離任、岡崎 正司祭赴任
	5	5	聖堂聖別式、岡崎 正司祭の牧師任命式

1971	6	16	ブラウニング主教離任、後藤東京教区主教が管理主教に就任
1972	1	6	日本聖公会沖縄教区誕生、記念感謝礼拝
	3		祈りの家教会を訪問
	4	3	岡崎 正司祭離任、池原貞雄司祭赴任
	5	15	沖縄、米軍政から日本復帰
	6	29	仲村実明司祭の主教按手式（沖縄教区第2代目主教）
1974	4		伊是名島キャンプ
1976	8		教会誌「櫓」創刊
1977	5	20	老人ホーム「愛の村」開設、池原貞雄司祭、所長に赴任(兼任)
	8		教会誌「櫓」第2号発刊
1978	8		教会誌「櫓」第3号発刊
1979	8	6	三原・小祿教会との合同日曜学校夏季キャンプ（於ナザレ幼稚園）
1980	4		三原・小祿教会との合同イースターキャンプ（於糸満青年の家）
	9	15	生き生き研修会に参加（於名護浦荘）
1981	9	23	沖縄教区宣教30周年記念バザー参加（於牧港諸魂教会）
	11	23	沖縄教区宣教30周年記念大会参加（於牧港諸魂教会）
1983	12	31	池原貞雄司祭休職、「愛の村」に専念
1984	4		池原貞雄司祭離任、新城 喬司祭赴任
1988	2	28	アンデレ寮建築完成
1989	10	30	新城喬司祭「沖縄宣教小史」編著・発行
1991	3	31	復活日ピクニック（南部）
1992	7		韓国ソウル教区オモニ聖歌隊沖縄訪問
1993	1	10	聖書研究を昨年から引き続き開始（～2.21、旧約詩編）
	2	28	大斎講話 証し（～3.28；大嶺具子姉、節子修女、喜屋武幸清兄、東思納秀子）
	5	23	礼拝後聖書研究を再開（～9.26；ガラテヤ書）
	8	8	県土木事務所と補償契約する（約6,300万円）
	9	14	教区常置委員会で2,500万円の補助が承認される
	10	24	礼拝後聖書研究を再開（ヨハネ第1の手紙）
	11	23	教区会で教区補助2,300万円、募金200万円に修正し決まる
	12	7	プレハブをリースし、臨時礼拝所を建築する
1994	1	14	聖堂建築工事入札、礼拝場所をプレハブに移す
	1	21	旧建物の解体始める、工事落札契約（丸産業）

	1	23	起工式
	1	26	工事着工
	1	30	昨年から引き続き聖書研究会始める（ヨハネ第1の手紙）
	4	3	復活日野外礼拝（浦添城公園）
	5	1	証しと賛美の礼拝
	6	7	プレハブ解体、礼拝場所をアンデレ寮2-Bに移す
	6	30	伊是名島より元聖霊教会の鐘、当教会に送られる
	9	4	現礼拝堂(聖堂)聖別式
1995	1		昨年よりの聖書勉強会、今年も毎木曜日に続ける
	2	11	教区婦人会長(宮里和子姉)書記(大嶺清子姉)宮古聖ミカエル教会訪問
	3	3	大斎節信徒の証し（～4.9；宮里和子姉、石川盛子姉、大嶺清子姉、普久原八重子姉、石川富子姉）
	4	16	イースターピクニック（首里城公園）
	9	15	婦人会、70歳以上の方にプレゼント
1996	1	7	「使徒言行録」聖書勉強会開始
	1	14	月間伝道紙「チャペルタイムス」を購入、配布（毎月）
	2	25	大斎講話（第1回）証し：宮里順子姉
	3	3	大斎講話（第2回）証し：松岡執事
	3	10	大斎講話（第3回）証し：シスター静枝
	3	24	大斎講話（第4回）証し：横田先生
	4	7	イースターピクニック（識名園）
	9	22	敬老の日に当たりプレゼントを贈る
	10	17	川平朝甫兄記念祭
	11	30	聖アンデレ日 礼拝・祝会
1997	1	25	山川宗大・宮本明子の結婚式
	2	2	「使徒言行録」聖書勉強会再開（～12月まで）
		9	教区婦人会本部を島袋諸聖徒教会から引き受ける
		16	大斎期間中「祈祷書と信徒の生活」勉強会(5回、毎週水曜日)
	3	20	イースターピクニック（沖縄市倉敷ダム）
	5	17	仲座キク姉逝去
	7	6	献花表を作って記入してもらう
	7	20	主日礼拝後の聖歌練習開始
	8	17	台風のため礼拝を休む

	9	17	敬老の日に当たりプレゼントを贈る
	9	23	沖縄教区臨時教区会（京都教区復活教会牧師谷昌二司祭、主教に当選）
	11	24	宮里和子姉妹が女性として初めて教区常置委員に当選
	12	15	教会横の道路拡張工事始まる
1998	3	20	教区の日礼拝（於宮古聖ヤコブ教会）に11名出席
	3	31	パウロ・仲村実明主教定年退職
	4	6	ダビデ・谷昌二司祭来沖
	4	25	ダビデ・谷昌二司祭主教按手式・着座式（沖縄教区第3代目主教）
	5	10	大嶺忍・岡村麻衣子の結婚式
	6	15	大倉美智子姉妹オルガン伴奏奉仕始まる
	9	13	敬老の日に当たりプレゼントを贈る
	9	17	宣教・伝道会議のポスターチラシを袋に詰める
	11	2	98沖縄宣教・伝道会議（～11.4）
1999	3	21	金田兄一家転勤 送別会
	4	2	イースター礼拝、ピクニック(玉城方面)
	9	20	敬老の日、75歳以上の方々へ婦人会から記念の鉢植えを贈る
2000	2	5	納骨堂工事開始
	4	24	復活日ピクニック（平和記念公園）
	7	30	納骨堂祝福式
	9	24	千早正光兄送別会(於都パレス)
	10	29	当教会40周年感謝礼拝（10月30日）
2001	1	6	教区センター落成式参加
	2	13	目崎甲弍聖職候補生に認可
	2	24	「祖先崇拜と福音宣教」集会に参加
	3	21	沖縄教区宣教50周年記念礼拝（於北谷諸魂教会）
	4	1	目崎甲弍聖職候補生、当教会勤務（～9.30）
	4	15	復活日ピクニック（勝連城跡）
	5	18	金曜聖書勉強会開始
	9	15	7名の方々へ敬老の日プレゼント
	10	30	釜山教区の李司祭離島、成成鐘司祭来島
2002	1	27	「朝の礼拝式文」勉強会
	3	31	新城 喬司祭定年退職

	4	1	上原榮正司祭管理牧師として赴任、目崎甲弍聖職候補生牧師館に入居 (以後の主日礼拝の司式：第1呉屋司祭、第2成司祭、第3新城司祭、 第4上原司祭、第5朝の礼拝)
	4	21	新城司祭送別会
	9	15	長寿を祝う会(主催：婦人会)
2003	4	1	成成鐘司祭・朴美賢司祭、協働牧会者として赴任 山川宗雄兄オルガン伴奏奉仕始まる
	5	4	首里聖アンデレ教会日曜学校開設
	5	31	目崎甲弍聖職候補生執事按手、首里聖アンデレ教会の牧師補に就任
	8	22	日曜学校夏季キャンプ(～8.23、於小祿聖マタイ教会)
	10	19	「お仕事会」発足
2004	2	22	「お仕事会」を「マリア・マルタ会」に改名
	4	11	復活日、聖書クイズ大会、成司祭送別会(島袋諸聖徒教会に赴任)
	7	23	福村元子姉妹「大韓聖公会日曜学校研修会」に参加(～7.27)
	7	30	日曜学校夏季キャンプ(於島袋諸聖徒教会、県民プール)
	9	9	敬老の祝会
	11	28	野外礼拝(於末吉公園、司式：新城 喬司祭、説教：目崎甲弍執事)
	12	24	ハンドベル演奏(クリスマス・イブ礼拝の中)
2005	2	16	「ケセン語訳聖書を通して聖書を学ぶ」を開始(講師：谷昌二主教)
	3	31	上原榮正司祭管理牧師退任
	4	1	谷昌二主教管理牧師に赴任
	5	15	祭壇フロントール、チャリスベール聖別(製作：マリア・マルタ会)
	6	8	日本聖公会婦人会常議員会(京都)出席(山川婦人会長、大嶺副会長、目崎執事)
	9	11	敬老の祝会
	9	14	姜勇求司祭来沖
2006	2	1	姜勇求司祭首里聖アンデレ教会に赴任(協働牧師)
	3	21	ソウル教区オモニ聖歌隊来沖、公演
	8		2階に間仕切り工事をして日曜学校の部屋を造成、エアコン設置
2007	1	19	喜舎場欣也兄弟逝去
	2	4	2ヵ年の教区婦人会役員の仕事終了
	3	21	教区の日、目崎甲弍執事の司祭按手式
	3	29	伝道集会「ラブ・ソナタ」参加(於宜野湾コンベンション・センター)
	3	31	目崎甲弍司祭定年退職、離島